

J A C S

NEWSLETTER

日本消費者行動研究学会ニューズレター

第13巻第2号

発行日● 2005年8月17日

発行●日本消費者行動研究学会事務局

第30回消費者行動研究コンファレンス概要

統一論題：消費者行動のグローバル・パースペクティブ

去る2005年6月4日・5日の両日、山梨県北巨摩郡小淵沢町の株式会社アルソア本社において、第30回消費者行動研究コンファレンスが開催されました。今回のコンファレンスは、自由論題・統一論題という2部からなる構成で、多数の研究報告が行われました。

自由論題研究報告では、以下の7つの研究報告が行われました。

1. 「消費者の視点からみた共同広告の効果」
橋田 洋一郎(早稲田大学大学院)
2. 「インターネット広告における写真の効果－広告への関与度による検討－」
杉谷 陽子(一橋大学大学院)
3. 「商品パッケージの情報処理に関する研究－精緻化見込みモデルを応用した情報処理ルートの解明－」
飯野 薫(法政大学大学院)・竹内 淑恵(法政大学)
4. 「クリエイティブ・ライフ～仕事, 生活, 消費の新しい潮流」
水野 誠(筑波大学)・関 利之(株式会社博報堂)
5. 「推奨販売がプライベートブランド購買に与える影響～大衆薬業界のケース～」
益川 竜介(大正製薬株式会社)・竹内 淑恵(法政大学)
6. 「消費者情報探索行動研究におけるFlow概念の検討(仮題)」
都 世蘭(韓国漢陽大学)
7. 「顧客視点のサービス・リレーションシップ・モデル－リレーションシップ構築におけるスイッチング・バリアと顧客ロイヤリティの役割－」
酒井 麻衣子(多摩大学)・小川 孔輔(法政大学)

統一論題研究報告では、「消費者行動のグローバル・パースペクティブ」というテーマの下で、法政大学の田中 洋教授をコーディネーターに3つの研究が報告され、活発な意見交換が行われました。

1. 「消費者行動の国際比較における方法論的課題」
阿部 周造(横浜国立大学)
2. 「中国消費者の現在」
安江 真理子(株式会社電通)
3. 「消費文化の受容過程－グローバルイゼーションとローカライゼーション－」
ラッセル・ベルク(ユタ大学)・木村 純子(法政大学)

この他に、第1日目には早稲田大学の恩蔵直人教授による「消費者行動研究を振り返って」と題した会長講演が、第2日目にはユタ大学のラッセル・ベルク教授による「What's Cool?」というテーマの記念講演が開催されました。

第31回消費者行動研究コンファレンスのお知らせ！

秋の消費者行動研究コンファレンスの開催日程が決定しましたので、ご案内致します。第1日目に研究報告と懇親会、第2日目に研究報告と統一論題でのシンポジウムを予定しています。詳細については、次号のニューズレターで再度お知らせ致します。

●開催日程決まる！●

11月26日(土)・27日(日)
中京大学
(愛知県名古屋)

第31回消費者行動研究コンファレンス 自由論題研究報告募集

11月26日(土)・27日(日)に開催されます第31回消費者行動研究コンファレンスでの自由論題の発表者を募集します。発表は26日に設定される予定ですが、時間等は未定です。発表順などは事務局で調整させていただきます。なお発表時間は30分程度ですが、発表者数によって若干調整させていただきます。発表者のうち1名が学会員であれば共同発表でも構いません。発表を希望される方は、「**9月21日(水)～9月30日(金)**」の間に、以下の要領で事務局までお申し出下さい。なお論題が本学会にそぐわない場合には、発表をお断りすることがありますのでご了承下さい。

発表を希望される方は、以下の点を事務局まで E メールもしくは郵送でお知らせ下さい。折り返し詳細を確認させていただきます。

【応募要領】 ①論題 ②発表者氏名 ③発表者の所属機関 ④発表必要機材
⑤発表者の連絡先(住所・電話番号・E メールアドレス) ⑥発表要旨(200字以内)

【宛先】 E-mail: jacs@jacs.gr.jp / 最終頁に記載の事務局

【応募期間】 9月21日(水)～9月30日(金)

JACS-SPSS論文プロポーザル賞 2005年度応募者

本年度も JACS-SPSS 論文プロポーザル賞への応募が多数ありました。審査委員の先生方による審査の結果、下記の研究がさらなる審査対象として認められました。秋のコンファレンス初日に、最終研究結果の報告があります。今年度の受賞はといったどの研究になるでしょうか？秋のコンファレンスが楽しみです！

1. 「アイカメラを用いた時間的制約下での購買意思決定の研究」
諸上 詩帆(早稲田大学大学院)・大久保 重孝(早稲田大学大学院)
岩間 徳兼(早稲田大学大学院)・竹村 和久(早稲田大学)
2. 「顧客満足の規定要因に関する研究」
宋 煒(横浜国立大学国際社会科学研究科)
3. 「象徴的消費が新しい自己概念の形成に及ぼす影響の実証研究」
朴 幸佑(一橋大学)
4. 「近赤外分光法(NIRS)を用いたフレーミング効果の脳画像研究」
田中 健一(早稲田大学大学院文学研究科)・井出野 尚(早稲田大学大学院文学研究科)
竹村 和久(早稲田大学文学学術院)・小嶋 祥三(慶應義塾大学文学部)
辻井 岳雄(慶應義塾大学心の統合的研究センター)

5. 「消費者行動における製品の「環境属性」の影響－環境配慮型製品に関するコミュニケーション戦略の検討－」
上野 正典(株式会社インテージ)
6. 「中高年の学び意欲の強さと方向性に関する研究」
河原 達也(東京都立大学社会科学部研究科)・土田 尚弘(東京都立大学社会科学部研究科)
7. 「「他者の視線」が消費者の購買行動に及ぼす影響についての経験的検討」
前中 泉(神戸大学大学院経営学研究科)
8. 「インターネットリサーチにおけるモニターの回答行動と品質の問題」
加藤 通朗(株式会社インテージ・インタラクティブ)・永井 忍(株式会社インテージ・インタラクティブ)
李 相吉(株式会社インテージ)
9. 「消費者の意識・態度から見た酒類の購買行動」
田中 朗(株式会社インテージ)・李 相吉(株式会社インテージ)
10. 「バランス仮説－内的参照価格と価格感度の関係－」
太宰 潮(学習院大学大学院経営学研究科)

2004年度決算報告および2005年度予算案

2005年6月4日に開催されました役員会での審議を経て、同日開催された会員総会において、2004年度の決算報告および2005年度の予算案が下記の通り承認・決定されました。ここにご報告します。

| 2004年度 決算報告 | | 2005年度 予算案 | |
|--------------------|-------------|------------------------------|--------------|
| 〔収入の部〕 | | 〔収入の部〕 | |
| 会費収入(2004) | 2,950,475 円 | 会費収入 * | 3,540,000 円 |
| 銀行 1,353,475 円 | | 学術会員 @5,000*342 = | 1,710,000 円 |
| 郵便 1,597,000 円 | | " (院生等) @2,000*110 = | 220,000 円 |
| 前年度繰越金(論文集、名簿作成費等) | 6,038,737 円 | 個人賛助会員 @5,000*62 = | 310,000 円 |
| コンファレンス残金 | 489,231 円 | 法人賛助会員 @50,000*26 = | 1,300,000 円 |
| | | 前年度繰越金 | 6,729,316 円 |
| 小計 | 9,478,443 円 | 小計 | 10,269,316 円 |
| | | * 2005年3月31日現在の種別会員数に基づいて算出。 | |
| 〔支出の部〕 | | 〔支出の部〕 | |
| 印刷費 ニュースレター印刷(年4回) | 26,280 円 | 印刷費 ニュースレター印刷(年4回) | 100,000 円 |
| 会員名簿印刷 | 191,100 円 | 会員名簿印刷 | 250,000 円 |
| 事務費 論文集作成・発送一式 | 1,568,320 円 | 事務費 論文集作成・発送一式 | 3,000,000 円 |
| ホームページ英訳費 | 62,600 円 | ホームページリニューアル費 | 300,000 円 |
| 通信費 | 293,515 円 | ホームページ英訳費 | 150,000 円 |
| 開催校補助費 | 100,000 円 | 通信費 | 300,000 円 |
| その他 | 507,312 円 | 開催校補助費 | 100,000 円 |
| 次年度繰越金(論文集、名簿作成費等) | 6,729,316 円 | その他 | 600,000 円 |
| 小計 | 9,478,443 円 | 次年度繰越金(論文集、名簿作成費等) | 5,469,316 円 |
| | | 小計 | 10,269,316 円 |

上記の通り報告致します。
事務局担当理事 新倉貴士 印

上記の報告を適正なものと認めます。
監事 桑原武夫 印

● 新入会員の募集について ●

本学会への入会を希望される方は、本頁下部の該当項目に☑をし、FAX もしくは郵便にて事務局宛にご返信頂くか、ご希望の項目を明記の上、e-mail にてご連絡ください。折り返し、会員募集案内(設立趣意書、学会会則、会員リスト、入会申込書、等)をお送りさせていただきます。

●入会資格

【学会会員】 消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者(在籍経験者を含む)、およびそれに準ずる者(文部省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等)。但し、学会会員2名の推薦が必要。

【賛助会員】 本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●年会費

【学会会員】 5,000円(但し、大学院生の場合は2,000円に減免)

【賛助会員】 個人会員 1口 5,000円 法人会員 1口 50,000円

会員募集案内(入会申込書)の送付を希望します。

次回コンファレンスへの参加を希望します。(懇親会: 参加 不参加)

お名前: _____ ご所属機関: _____

ご住所: 〒 _____

TEL: _____ FAX: _____

E-mail: _____

● JACS事務局のご案内 ●

(事務局) 〒662-8501 西宮市上ヶ原1-1-155
関西学院大学商学部 マーケティング研究室(新倉貴士)
TEL: 0798-54-6444 FAX: 0798-51-0903 Email: tniikura@kwansei.ac.jp

(事務取扱) 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー10F (SPSS内)
TEL: 03-5466-5520 FAX: 03-5466-5528 Email: jacs@jacs.gr.jp

<JACS Website> <http://www.jacs.gr.jp/>

* ご入会希望やコンファレンスへの参加お申込み、またお問合せ等は上記までお願い申し上げます。
